

平成26年度(平成26年4月～平成27年3月)
渡島管内観光入込客数調査

渡島総合振興局 産業振興部 商工労働観光課

「観光入込客数調査」について

道における観光入込客数調査は、「観光入込客統計に関する共通基準」(H21年12月、観光庁)を踏まえ、平成22年2月に制定した「北海道観光入込客数調査要領」(H9年1月制定に準ずる)に基づき実施しています。

<調査対象市町村>

本調査は、全道の市町村を対象に調査しています。

<実人数>

1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地点を訪れても1人と算出します。

1人の観光客が1回の旅行で宿泊施設に2泊以上滞在しても1人と算出します。

<総数>

市町村の実人数の単純合計です。(実人数に対して、延べ人数となっています。)

1 概況

- (1) 平成26年度(平成26年4月～平成27年3月、以下同様)の渡島管内観光入込客数の総数は、約1,061万8千人で、平成25年度に比べ約21万4千人の増加となり、対前年比で102.1%増となっており、昨年に引き続き2年連続で1000万人を超える水準となっております。

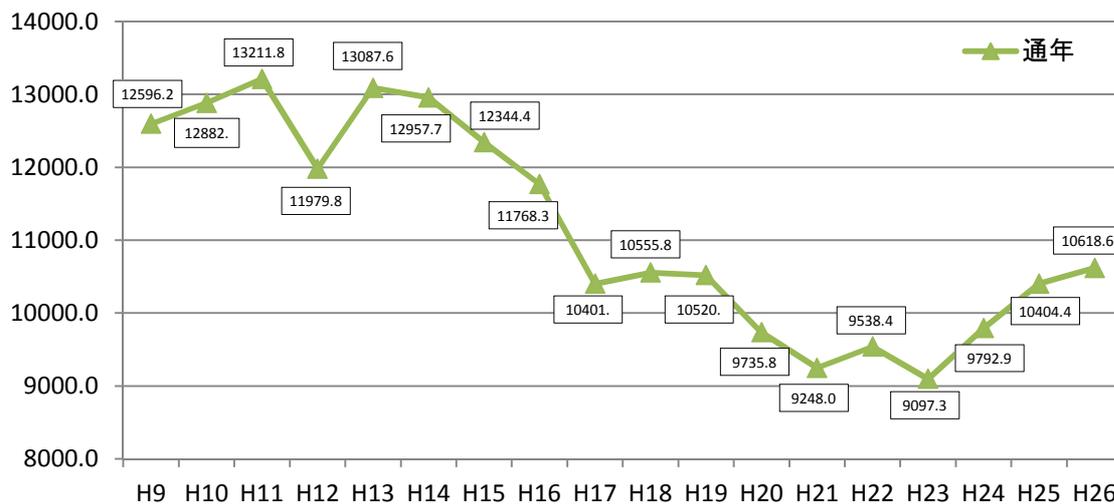
(単位:千人)

平成26年度	平成25年度	増減	対前年比
10,618.6	10,404.4	214.2	102.1%

- (2) 主な要因としては、函館空港～天津空港間のチャーター便の就航や春先の好天により、各種イベントの入込客数が増加したことが考えられます。

観光入込客数経年推移

(単位:千人)



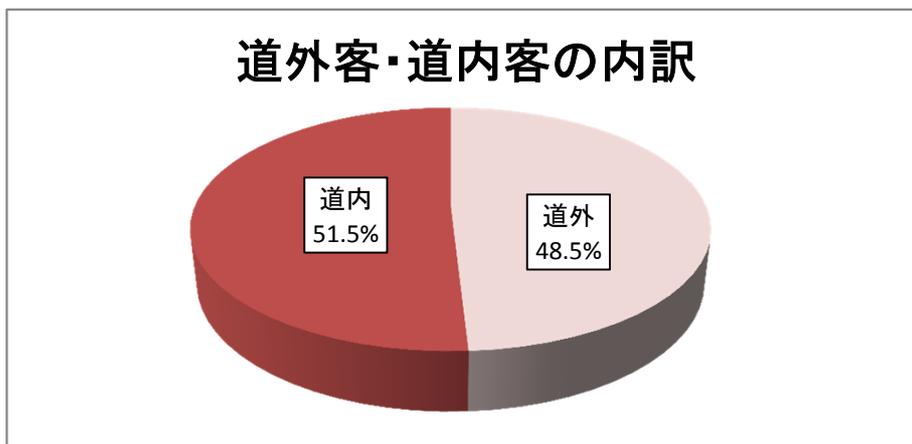
2 道外客・道内客の状況

道外・道内観光客別では、道外観光客が約3万8千人の増加、道内観光客は約17万6千人の増加となりました。

道外・道内観光客の割合は、ほぼ同率で、前年度から大きな変動はありませんでした。

(単位:千人)

	平成26年度	平成25年度	増減	対前年比
道外客	5,149.6	5,111.5	38.1	100.7%
道内客	5,469.0	5,292.9	176.1	103.3%
各年度計	10,618.6	10,404.4	214.2	102.1%

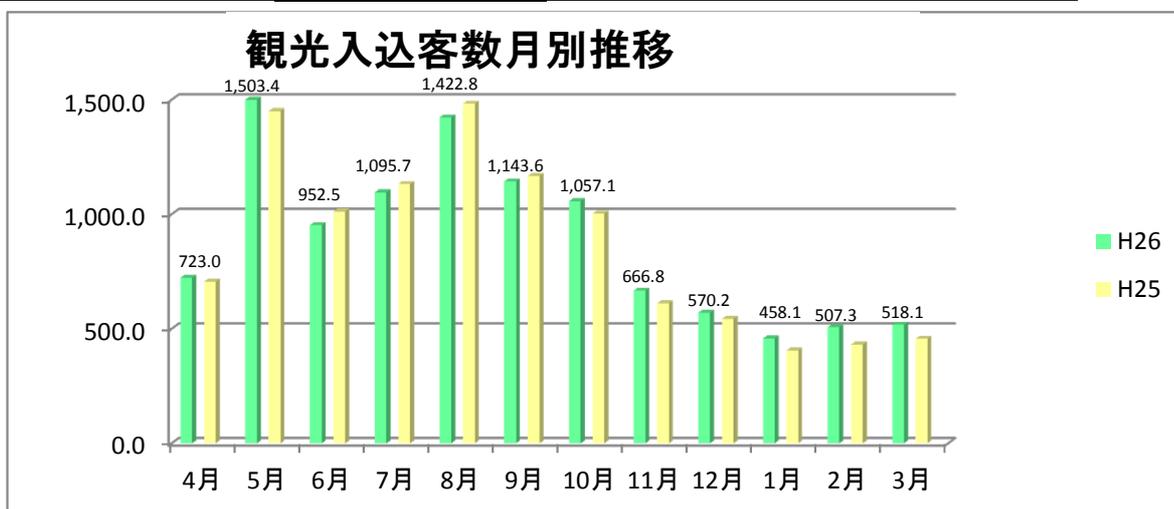


3 月別の推移

6月～9月は前年度と比べて減少していますが、それ以外の月では増加となっています。特に1～3月は外国人観光客の入込が好調だったことにより、前年比110%超の増加となっております。

(単位:千人)

	平成26年度	平成25年度	対前年比
4月	723.0	705.8	102.4%
5月	1,503.4	1,450.6	103.6%
6月	952.5	1,012.6	94.1%
7月	1,095.7	1,132.2	96.8%
8月	1,422.8	1,483.1	95.9%
9月	1,143.6	1,167.5	98.0%
10月	1,057.1	1,003.2	105.4%
11月	666.8	611.8	109.0%
12月	570.2	543.5	104.9%
1月	458.1	405.8	112.9%
2月	507.3	431.3	117.6%
3月	518.1	457.0	113.4%

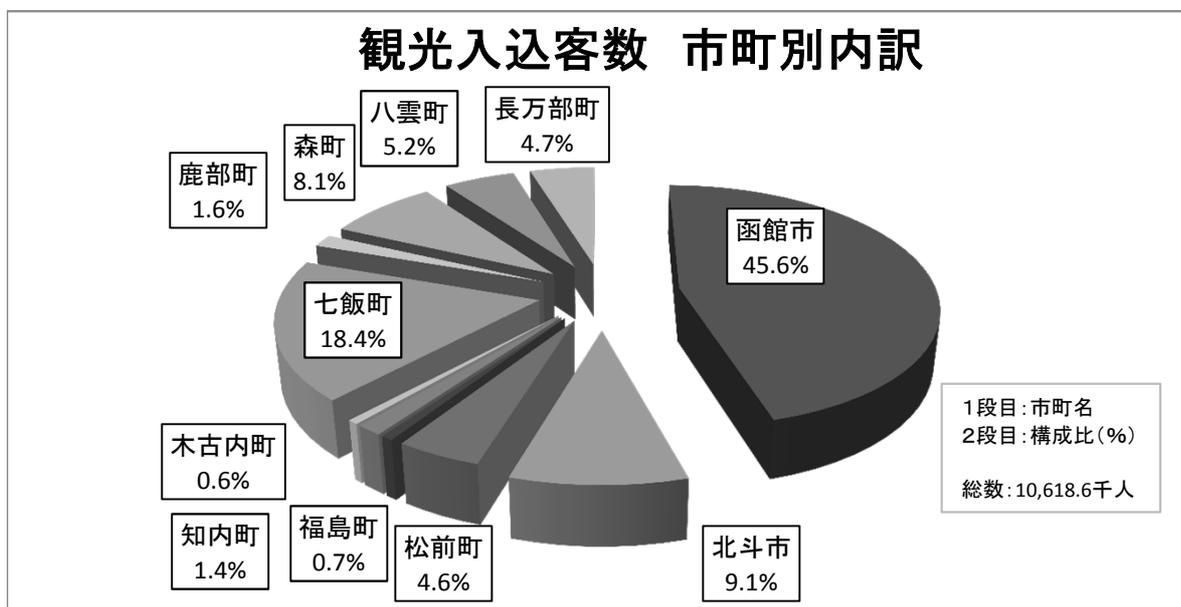


4 市町別の状況

松前町、福島町、知内町等の6市町が前年度に比べ減少しましたが、函館市、北斗市、木古内町など5市町では増加しました。特に、北斗市は約25万2千人、森町は約6万3千人の増加となりました。これは、好天に恵まれ、各種イベントの入込客数が増加したことなどが主な要因と考えられます。

(単位:千人)

	平成26年度	平成25年度	増減人数	対前年同期比
函館市	4,840.2	4,819.1	21.1	100.4%
北斗市	971.0	718.6	252.4	135.1%
松前町	479.1	508.9	▲ 29.8	94.1%
福島町	70.3	73.0	▲ 2.7	96.3%
知内町	148.6	165.9	▲ 17.3	89.6%
木古内町	61.7	60.7	1.0	101.6%
七飯町	1,954.4	1,980.6	▲ 26.2	98.7%
鹿部町	174.2	219.7	▲ 45.5	79.3%
森町	861.6	798.2	63.4	107.9%
八雲町	553.2	552.3	0.9	100.2%
長万部町	504.3	507.4	▲ 3.1	99.4%
各年度上期計	10,618.6	10,404.4	214.2	102.1%



平成26年度 渡島管内各市町観光客入込状況

(単位:[上段]千人 [下段]%)

市町名	入込数	内訳				主な増減要因等
		道外客	道内客	日帰客	宿泊客	
函館市	4,840.2	3,140.2	1,700.0	1,748.3	3,091.9	国際定期便の利用増加やクルーズ船寄港の増加、また円安傾向により外国人観光客が大幅に増加したことに加え、これまでの北関東、東北等におけるプロモーション活動や冬の函館観光の魅力創出の取組等を背景に国内観光客も復調傾向にあった。
	100.4	100.5	100.3	98.6	101.5	
北斗市	971.0	29.2	941.8	941.1	29.9	北斗市桜回廊事業期間延長、期間中の好天、また開花状況の良好により入込客数が増加。その他観光施設や各種イベントの入込も好調であったため、25万人増と大幅な増加となった。
	135.1	97.3	136.8	137.0	93.7	
松前町	479.1	100.3	378.8	431.1	48.0	5月さくらまつり入込客数が昨年度と比較し減少。また悪天候等の影響により、全体的に減少となった。
	94.1	94.3	94.1	93.6	99.2	
福島町	70.3	6.5	63.8	68.0	2.3	各観光施設の入込客数は概ね前年並みに推移しており、イベントの入込については10月開催のカントリーフェスティバルでのマグロ販売により増加がみられた。しかしGW期間中の横綱記念館、青函トンネル記念館の入込客数の減少(前年比3割減)と、7、8月の悪天候による海峡横綱ビーチの入込客数の減少(前年比2割減)により、全体として減少となった。
	96.3	90.3	97.0	96.2	100.0	
知内町	148.6	44.1	104.5	134.2	14.4	2月のカキニラまつりの来場者の増加が見られたものの、桜の開花時期が道内で重なったことにより、花見客が分散したことや、JR知内線が3月で廃線になり、道の駅の見学者数が減ったことにより減少となった。
	89.6	89.5	89.6	89.6	89.4	
木古内町	61.7	5.4	56.3	58.0	3.7	江差線廃線に伴う観光客が増加したとともに、駅前にアンテナショップを設置したことにより木古内駅で降車する人が増え、観光客増加に繋がった。下期では江差線廃線に伴う観光客がいなくなったため、前年度と比べると減少しているが今年度全体で見ると前年並みの入込客数となっている。
	101.6	64.3	107.6	100.0	137.0	

※下段は対前年同期比

(単位:[上段]千人 [下段]%)

市町名	入込数	内訳				主な増減要因等
		道外客	道内容	日帰客	宿泊客	
七飯町	1,954.4	1,390.1	564.3	1,862.6	91.8	豪華客船入港による欧米の観光客の増加、11月からの函館空港～天津空港間のチャーター便就航により中国からの観光客の増加等が見られたものの、天候不良、増税、バス不足の影響により入込客数は減少した。
	98.7	100.0	95.6	98.2	110.7	
鹿部町	174.2	12.9	161.3	154.0	20.2	函館～天津間のチャーター便の運航、ビザの緩和等により、中国からの観光客が増加したが、みなみ北海道鹿部ロイヤルホテルが春にリニューアルし、高級路線に転換したことで、同ホテルの客室数減少に伴い、町の観光客入込客数も減少した。
	79.3	67.2	80.4	84.3	54.4	
森町	861.6	89.0	772.6	797.4	64.2	比較的春先から気温が温暖で天気の良い日が多く、イベント時の天候も良かったため。 ・さくらまつりでは、桜が早く咲き、GWには見頃を迎えていた ・夏祭りが2日日程になったため ・ふるさとまつり時も天候が良く、ネームバリューのある歌手がきたため ・1～3月のスキーシーズンにグリーンピア大沼の入込客数が増加したため
	107.9	157.2	104.2	108.9	97.4	
八雲町	553.2	164.3	388.9	531.0	22.2	例年より早く雪が積もり、スキーへ出掛ける人が増え、道立公園パノラマパークの利用者が減り、11、12月は前年と比べ入込客数が大きく落ち込んだ。一方、パノラマパーク内に情報交流館がオープンしたこと、また月曜日が休館日であるパノラマパークを期間限定(8月)で臨時開館したことにより、入込客数が増加した。全体としては前年度と同程度であった。
	100.2	108.7	96.9	99.7	112.1	
長万部町	504.3	167.6	336.7	486.6	17.7	訪日外国人観光客の増加による入込客数の増加があったものの、JR特急列車の減便、自然災害による宿泊施設利用客の減少等により、全体としては前年度と同程度であった。
	99.4	99.4	99.4	99.5	96.7	

※下段は対前年同期比